再評価結果 (平成20年度事業継続箇所)

担 当 課:沖縄総合事務局 道路建設課

担当課長名:金城 博

全体事業費 183億円 事業進捗率 65% 供用済延長 1.3km

計画交通量 23,800台/日

事 業 費:41/192億円 12.1 維持管理費:1.6/2.1億円 走行時間短縮便益:500/555億円 走行費用減少便益:17/17億円 交通事故減少便益:4.2/4.6億円

感度分析の結果 :

事業の効果等

都市の再生(宜保土地区画整理事業との連携)

個性ある地域の形成(拠点開発プロジェクト支援 豊見城地先開発)

関係する地方公共団体等の意見

(残事業)

豊見城村長、豊見城市役所前通り地主会から整備に関する要望書が出ている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

豊見城地先開発地区に、アウトレットモールがオープンするなど大型商業店舗の立地が進んでいる。また、同地区周辺が沖縄県観光振興計画観光振興地域に指定された。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成16年4月に国道331号から豊崎までの 1.3 kmを供用し、平成 1 8 年2月には地域高規格幹線道路の 豊見城道路と連結している。、現在、その他区間の用地取得を推進している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

近接する区画整理事業の計画変更に伴う関係機関との調整に時間を要し事業進捗が遅れたが、今後、平成22年度完了を目指し事業進捗を図る。

施設の構造や工法の変更等

特になし

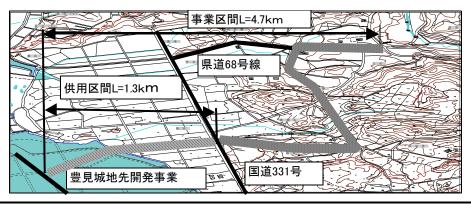
対応方針 : 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性はあると考えられる。

事業概要図





※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。